

委員会のうづしぎ

総務

佐賀文教施設の

高台移転の調査費予算化



総務常任委員長
森 治史

町財産の縫製工場（3社）の蛍光灯を事業者がLED照明に取り替える工事費用を5年間減免するものです。

委託料700万円は佐賀保

●平成25年度

一般会計補正予算

■歳入

主な内訳は、使用料及び手数料162万円の減額。国庫支払金234万円、県支出金1991万円、町債860万円の歳入がありました。

■歳出

主な内訳は、同対施設使用料調整基金117万円と施設等整備基金45万円の減額です。

育所、小学校、中学校の高台移転について国、県との話し

合いに必要な町の基本構想と計画を作る調査費です。保育所移転は最優先の事業として考えていますが、保育所、中学校は最近新築しており、移転になれば二重の返済が懸念されます。

更に、現在は佐賀支所の高台移転は考えてないが、災害発生時は拳ノ川の「あつたかふれあいセンターこぶし」を対策本部として対応するとの説明がありました。

更に、現在は佐賀支所の高台移転は考えてないが、災害発生時は拳ノ川の「あつたかふれあいセンターこぶし」を対策本部として対応するとの説明がありました。



佐賀地区の保育所と小中学校

●条例の改正と制定

■匿名の方より教育に生かして下さいと1千万円のご寄付を頂き、地域活性化事業基金で運用するには現行条例中に「教育」がないため、条例に加える改正です。

■防災対策加速化基金条例は、南海地震津波に対し、現在取り組んでいる緊急防災事業を加速推進するために、国の交付金、県の支援金を基金に積み立てる条例制定です。

産業建設

伊与木川中洲広場への架橋建設に関する請願書を採択



産業建設常任委員長
坂本 あや

●伊与木川中洲広場への架橋建設に関する請願書を採択

を勘案し対応していただきたいという意見を付し、採択しました。



伊与木川中洲広場（左側）付近を視察

●一般会計補正予算

■ミヨウガハウスの土壌改修事業に補助金

ミヨウガは病気が発生すると3年は作れない。品目変更も高額なハウス設備もあり難しいことから、ロックウールを使った溶液栽培を導

本請願には、道の駅建設用地も整備され店舗開設が具体化したことや、高規格道路の延伸により交流人口の増加が期待できる環境が整ったこと。地域のイベントや祭りにも活用してきた場所だが、近年では川の増水等で中洲へ渡ることが出来ず行事や管理が行えない等、切実な思いが込められていました。

委員会は現地視察を行い橋の必要性は認められるが、防災対策や避難道の整備等が急がれており、事業の優先順位